

KAIKEN

# 空気がうまい家®に 住まう喜び伝えたい



浦上直 代表取締役社長

## 「健康住宅」体感しませんか？

### 木の命が生きる音響熟成®木材

カイケンコーポレーションが提案する「空気がうまい家®」の特長は、音響熟成®木材、幻の漆喰®、超薄型高遮熱材「リフレクティックス」の使用。健康住宅アドバイザーとして全国でセミナーを開催している浦上社長は、同社が長年にわたって収集した詳細なデータと、施主の声、自宅での実体験をベースに健康住宅の良さを発信する。「生きている素材を使った『生物的な家づくり』を目指し、一般的な住宅で採用されている新材や集成材、ビニールクロスなどを使わない点が『空気がうまい家』の最大の特長」と強調する。沖縄でのセミナーは昨年に続き2回目。

同社の代名詞ともいえるのが音響熟成木材だ。「南九州産の杉をクラシック音楽が流れる中で音響熟成させた。人工的に乾燥させていないので、木が本来持っている油分やエキスが残り、『木の命』が生きた木材となる」と浦上社長。「シロアリを寄せ付けにくくしたり、柔軟性があるため折れにくい」と話す。さらに、防菌・防カビの特長を生かし、建物本体はもちろん、風呂場やトイレなどの水回り

にも使用できる。

音響熟成木材を使った床材は「うづくり仕様」と呼ばれ、「自然な凹凸が足裏を刺激してくれる」という。使い込むほどに艶が出てきて、愛着が深まる点も「暮らしに寄り添う木造の優しさ」といえる。

### 完全天然素材の幻の漆喰®

幻の漆喰は、有明海の赤貝や海藻などを使った完全天然素材の壁材。光と熱に反応する「光熱触媒」作用があり、「半永久的に室内の化学物質や有害物質を吸着、分解してくれる」ことから、「天然の空気清浄機」と呼ばれるほど。「タバコ、焼き肉をした後、ペットの臭いはほとんど感じない」と浦上社長は説明する。

さらに快適な住空間を実現させるのが超薄型高遮熱材の「リフレクティックス」。7層構造ながら接着剤ゼロという最先端技術を駆使した材料で、宇宙服などの素材に使われたもの。「沖縄の暑さ、北海道の寒さにも対応でき、エアコンを使う回数も減少する」という。セミナーでは、実際に「空気がうまい家」に住む人たちの声も併せて紹介。浦上社長は「セミナーを通じ本当の健康住宅を知ってほしい」と呼びかける。

## 【健康住宅セミナー】

日時／4月21日(日)13時30分開場、14時スタート  
会場／EMウエルネスリゾートコスタビスタ(北中城村)  
講師／カイケンコーポレーション(株)  
浦上直 代表取締役社長  
受講／無料(予約制、定員42人)  
問い合わせ先／正規取扱店(有)ラムハウジング  
☎098(936)8808  
※沖縄市上地の空気がうまい住空間「ゆがふ家」の完成見学会は5月12日(土)、13日(日)。詳細はラムハウジングまで。



鹿児島県にあるカイケンコーポレーションの「さつま見学工場」(写真左)では建材の製造過程を見学できる。敷地内には「空気がうまい家」を体感できる宿泊可能なモデルハウスを開設。見学は要予約。

☎092(874)6110 <http://www.e-kaiken.com>

## 4月21日(土)にセミナー

「本物の自然建材を使った健康住宅」を追求し、独自の技法で開発、販売を続けるカイケンコーポレーション(株)(本社・福岡市)。「空気がうまい家®」を全国展開し、沖縄でもリフォーム、新築戸建てが相次ぎ、関心の高さを示している。4月21日(土)には同社の浦上直代表取締役社長が、建材の特長、住環境を取り巻く問題点などについて講演。「自然の力を最大限に生かし、暮らしに寄り添う木造住宅の良さ、住まう喜び」を伝える。



沖縄市上地で現在建築中の戸建てで、大黒柱に寄り添う浦上社長(左)。この家を設計施工し、カイケンコーポレーションの沖縄正規取扱店ラムハウジングの川上優社長(右)、建築士の川上晃奈さん(中央)

## 暮らしに寄り添う木造の優しさ



①3月に開催された沖縄市上地の構造見学会 ②超薄型高遮熱材「リフレクティックス」を使用 ③床下の造りも確認できた＝以上は沖縄市上地の住宅。④幻の漆喰を塗った壁 ⑤色を乗せて雰囲気が変わった室内 ⑥トイレは床に音響熟成木材、壁は幻の漆喰で臭いをキャッチ ⑦風呂場にも音響熟成木材を使うことができるとあって驚きの声も上がる＝以上は鹿児島のカイケンコーポレーションのモデルハウス